

事務事業名	地域貢献型ビジネス支援事業		
事業開始年度	平成18年度	担当部署	地域振興部 産業振興課

根拠法令	枚方市産業活性化支援補助金交付要綱
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> その他()
目的 (何のために)	新規性、独創性、採算性、継続性、実現性、公共性等の面で優れた事業を自ら企画し、実施しようとする事業者に対し、当該事業の実現を支援し、それによって本市の産業の活性化を図る
対象 (誰・何を対象に)	本市に在住し、又は所在する個人又は法人

事業内容	<p>①補助金の交付の対象となる事業 福祉・介護・医療、教育・子育て支援、雇用創出・就労支援、環境保全、伝統産業、文化歴史遺産保全等の地域貢献活動を伴う事業で、本市の産業活性化に寄与すると認められるものであり、新規性、独創性、採算性、継続性、実現性、公共性等の面において優れていると認められるもの。</p> <p>②選定委員会 学識経験者等により構成される選定委員会を開催し、事業者による申請内容の提案を審査した上で、事業を選定。</p> <p>③補助金の額 補助対象事業に要する経費の50パーセントに相当する額。ただし、2,000,000円を上限とする。</p>
------	--

事業の必要性	地域貢献活動を通じ市の産業振興を図るために必要な事業
--------	----------------------------

コスト										
		H20年度決算			H21年度決算			H22年度当初予算		
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	
正職員	0.1人	836千円	0.3人	2,477千円	0.3人	2,410千円				
再任用職員										
非常勤職員等										
人件費計(A)		836千円		2,477千円		2,410千円				
直接経費(B)		2,028千円		2,181千円		5,057千円				
総事業費(A+B)		2,864千円		4,658千円		7,467千円				

財源内訳										
		H20年度決算			H21年度決算			H22年度当初予算		
国庫支出金			千円		千円		千円		千円	
府支出金			千円		千円		千円		千円	
受益者負担 (使用料等)			千円		千円		千円		千円	
その他			千円		千円		千円		千円	
一般財源		2,864千円		4,658千円		7,467千円				

平成21年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容		金 額
	補助金		2,134千円
	報償金		47千円
			千円

事務事業名	地域貢献型ビジネス支援事業		
事業開始年度	平成18年度	担当部署	地域振興部 産業振興課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H20年度	H21年度	H22年度(見込み)
活動実績	① 交付件数	件	1	2	1
	② 申請件数	件	3	10	4
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費/交付件数	千円	2,864	2,329	7,467
	② 総事業費/申請件数	千円	955	466	1,867
	③				
成果目標 (目標とする成果)	地域貢献型ビジネスの分野において、ユニークなビジネスモデルを創造するとともに、自ら考え自ら行動する事業者の主体性を尊重しつつ、地域活性化の担い手となりうる人材の発掘・確保・育成を図り、枚方市の地域産業の活性化に資することを目的としている。				
事業の自己評価	事業の実施を通じて、地域の資源を活用しつつ、地域貢献型ビジネスにより、地域産業の活性化を図っている。事業選定の際、一定点数に達しないため、選定外となる事業があるが、地域のニーズや資源の掘り起こしにもつながっていると考える。				
今後の事業の方向性	今後、コミュニティビジネスの調査・研究を進めながら、本事業の再編を含めた検討を行う。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	大阪市「CBプランコンペおおさか」				
特記事項	コミュニティビジネスとはソーシャルビジネスとも呼ばれ、一般的に、環境保護、高齢者・障害者の介護・福祉、まちづくり、観光等、地域の社会的課題に対し、地域の人材や資源を活用し、ビジネスの手法で解決することにより、地域における新たな起業や産業振興を支援し、地域の活性化を目的としています。				

枚方市産業活性化支援補助金（地域貢献型ビジネス事業） 事業仕分け 補足説明資料

これまでの選定実績

平成20年度（1件）

（千円）

事業者	事業の内容・効果	補助対象経費	補助額
法人 （NPO法人）	商店街の店舗を利用し、子育て支援としての食育料理教室に加え、地元商店街と連携した成人病予防の料理教室を開催。また農家の協力を得て農業体験教室も実施。商店街の活性化、および子どもを含め多くの人に食育の機会を与えることができた。	4,522 （主な経費） ③1,902 ⑦1,038 ④956	2,000

選定外となった事業（2件）

教育・子育て支援事業	まちづくり地域貢献型事業
------------	--------------

平成21年度（2件）

（千円）

事業者	事業の内容・効果	補助対象経費	補助額
個人 （任意団体代表者）	市内の各所でマジックショーを実施。また、マジック教室を開講して、幅広い年齢層から参加者の獲得を得た。マジックショーでは、市内事業者との共同開催や異種グループとのコラボレーション等を通じて客層を拡大することができた。また、多くの市民のマジック技術の向上に貢献することで、顧客拡大だけでなく、“マジックの普及”を通じて、地域でビジネスチャンスの創出につながる広げる効果がみられた。	304 （主な経費） ④166	152
法人 （株式会社）	枚方市内で長年培われた技術を承継し、設備投資を行い、オリジナルデザインの靴下やメッセージを編みあげた靴下の作成・販売を行った。体験工房では、幅広く市民にものづくりの楽しさを伝えるとともに、技術継承者の育成を図った。事業の独創性などからメディアにも取り上げられ、またオリジナルの靴下製作は少数からの注文も受け付けたため、多くの顧客から発注を受け、好評を博した。職業訓練生の職場体験の一環としての体験工房も行い、市内産業の活性化と人材育成に貢献したものと考えられる。	3,964 （主な経費） ③2,226 ⑤912 ④890	1,982

選定外となった事業（8件）

教育・子育て支援事業（4件）	まちづくり地域貢献型事業（3件）
福祉・介護・医療事業	

平成22年度（1件）

（千円）

事業者	事業の内容・効果	補助対象経費	交付決定額
法人 （NPO法人）	母親の育児不安や孤立、また密室育児から子どもの虐待を予防することを目的に母子が好きな時に集える場等を提供する。	4,319	2,000

選定外となった事業（3件）

福祉・介護・医療事業（2件）	教育・子育て支援事業（1件）
----------------	----------------

補助対象事業

福祉・介護・医療、教育・子育て支援、雇用創出・就労支援、環境保全、伝統産業・文化歴史遺産保全等の地域貢献活動を伴う事業で、新規性、独創性、採算性、継続性、実現性、公共性の面において、優れており枚方市の産業活性化に寄与すると認められるもの

選定委員（平成22年度）

学識経験者（法律政策・地方自治）	1名
経営相談コンサルタント	2名
市民活動支援団体職員	1名

選定方法

枚方市産業活性化支援補助金交付対象事業選定委員会において、事前計画提案書及びプレゼンテーション（10分程度）により審査の上、選定します。

選定にあたっては、次の視点をもとに、総合的に評価し、審査します。

（平均60点以上で上位の事業から選定し、予算の範囲内で決定）

審査基準

新規性：趣向や発想が新しいこと（20点）

独創性：他に例を見ないなど、画期的なアイデアであること（10点）

採算性：事業の収支計画が妥当であり、補助金や寄付金のみならず継続可能であること（20点）

継続性：複数年にまたがる、計画性をもった発展性のあるもの（10点）

実現性：現実の可能性を明確に示すことのできるもの（30点）

公共性：広く地域社会全般に対して提案できるもの（10点）

補助対象経費

- ①印刷製本費 ②賃借料 ③改装費 ④人件費 ⑤報償費 ⑥通信運搬費 ⑦備品購入費
⑧消耗品費 で、当該事業に係る経費

補助金の額

補助対象経費の50%に相当する額。ただし、当該額が200万円を超える場合は、200万円を限度として、予算の範囲内で決定します。